

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	応用力学特論B（Applied Mechanics B）		
ナンバリングコード	M20202	大分類 / 難易度 科目分野	航空電子機械工学専攻 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M000402	クラス名	環境情報学専攻
担当教員名	室園 昌彦		
履修上の注意、 履修条件	大学工学部で学ぶ「力学」、「材料力学(建築学科では構造力学)」、「流体力学」の基礎的な素養、大学初等レベルの「微分積分」「線形代数」の知識が必要です。		
教科書	指定しません		
参考文献及び指定図書	講義で都度紹介します		
関連科目	応用力学特論A		

○基本情報		
授業の目的	「連続体力学」に関する基礎的な知識を修得することで、専門分野及び関連する領域の幅広い知識と高度な技術を身に付け、それを応用し実践する能力を身につけることを目指します。	
授業の概要	材料力学(建築・土木分野では構造力学)、機械力学、振動学などの基礎的な知識を前提にして、連続体の振動や動的応答の問題解明に必要な基本的概念を理解し、具体的な解析や数値計算を行うための素養を修得することを目指します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当者はいない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	自分の専門分野と連続体力学を関連付けて考えることができる		20点	
【知識・理解】	連続体力学の初歩的な部分を理解できる		60点	
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	物理法則を用いて連続体力学の挙動を記述できる		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
講義中に出題された演習問題およびレポートによって評価します。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	応用力学特論B（Applied Mechanics B） 室園 昌彦	授業コード	M000402
学修内容					
1. ガイダンス 講義のすすめ方について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
2. 1自由度系の振動 自由度1の系に関する振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
3. 2自由度系の振動と固有振動 自由度2の系に関する振動および材料の性質で決まる固有振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
4. 動的応答 振動の動的応答について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
5. 連続体の振動 連続体の振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
6. 弦の振動 張力がかかっている弦の振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
7. 棒の縦振動 棒の伸縮による振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間
8. 梁の曲げ振動1 梁の固有振動について解説します					
予習		授業中に配付した演習課題			約2時間
復習		授業中に配付した演習課題			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	応用力学特論B（Applied Mechanics B） 室園 昌彦	授業コード	M000402
学修内容				
9. 梁の曲げ振動2 梁の励振による応答について解説します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
10. 梁の曲げ振動3 梁の軸力、回転慣性、せん断変形について解説します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
11. 平板の曲げ振動 平板の曲げ振動について解説します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
12. 長方形板、円板の振動 板状の物体の振動について解説します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
13. モード解析の基礎1 振動の波数による解析について解説します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
14. モード解析の基礎2 前回到引き続いて、振動の波数による解析について解析します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
15. 総括 これまでの講義を振り返り総括します				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間
16.				
予習	授業中に配付した演習課題			約2時間
復習	授業中に配付した演習課題			約2時間